

尚綱大学

教育情報及び財務情報の公表について

学校法人尚綱学園は、公共性の高い法人としての社会的責任を踏まえ、情報公開に取り組んでいます。当学園に対する皆様方のご理解とご協力を得ることを目的として、下記の基本情報を公開いたします。

1. 教育研究上の基礎的な情報

- (1) 学部、学科名称
- (2) 各学部、学科の教育研究上の目的
- (3) 専任教員数等
- (4) 校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境
- (5) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用
- (6) 教材購入費
- (7) 校舎等の耐震化率
- (8) 寄附行為
- (9) 役員名簿
- (10) 役員報酬等基準
- (11) 外部資金獲得状況

2. 修学上の情報等

- (1) 教員組織、各教員が有する学位及び業績
- (2) 3つのポリシー
 - ①入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）
 - ②教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
 - ③学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
- (3) 入学定員、入学者数、収容定員、在籍者数
- (4) 入学者数、退学者数、除籍者数、中退者数、中退率及び留年者数の推移
- (5) 社会人学生数、留学生数及び海外派遣学生数
- (6) 入学者（出身校県別）
- (7) 卒業者数、就職希望者数、就職者数、就職率及び進学者数他
- (8) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画
- (9) 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準
- (10) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援
- (11) 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

3. 財務情報

- (1) 令和5年度財産目録
- (2) 令和5年度貸借対照表
- (3) 令和5年度資金収支計算書
- (4) 令和5年度活動区分資金収支計算書
- (5) 令和5年度事業活動収支計算書
- (6) 令和5年度事業報告書
- (7) 監事の監査報告書
- (8) 令和5年度決算の概要報告
- (9) 令和6年度の学生生徒数の状況

1. 教育研究上の基礎的な情報

(1) 学部、学科名称

学部名	学科名	
現代文化学部	文化コミュニケーション学科	1～4 年生
生活科学部	栄養科学科	1～4 年生
こども教育学部	こども教育学科	1～4 年生

(2) 各学部、学科の教育研究上の目的

<現代文化学部>

建学の精神及び教育理念に則り、高度なコミュニケーション能力を基礎に、高度情報化とグローバル化が進行する現代日本社会及び多様な表現文化について、広い視野から調査・分析する能力を修得し、ビジネスや行政の場で協働して問題を解決できる女性を育成することを目的とする。

<生活科学部>

建学の精神及び教育理念に則り、人間の健康と食のあり方を広い視野から深く教育研究することにより、食・栄養に関する先進的な専門知識と実践技術を身につけ、自律性・対話力・考察力を兼ね備えた専門職業人として、栄養教育、栄養管理、食育等を通して、広く社会に貢献できる女性を育成することを目的とする。

<こども教育学部>

子どもの内面を理解し適切な指導を行う力、家庭や地域社会と協働し、連携を図りながら教育を実践する力、特別な教育的配慮を要する子どもに対応する力を身につけ、子どもに信頼され慕われる人間性豊かな幼児教育・保育者を養成することを目的とする。

(3) 専任教員数等

学部ごとの専任教員数（令和 6 年 5 月 1 日現在）

（単位 人）

学部名	学科名	教授		准教授		講師		助教		計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
現代文化学部	文化コミュニケーション学科	5	3	2	3	2	0	0	2	9	8	17
生活科学部	栄養科学科	3	4	2	2	0	3	1	0	6	9	15
こども教育学部	こども教育学科	2	2	1	6	2	0	0	0	5	8	13
計		10	9	5	11	4	3	1	2	20	25	45

法令上必要な専任教員数（令和6年5月1日現在）

（単位 人）

学部名	専任教員数					設置基準で定める 最低専任教員数	
	教授	准教授	講師	助教	計	別表第 1	別表第 2
現代文化学部	8	5	2	2	17	8 (4)	12 (6)
生活科学部	7	4	3	1	15	10 (5)	
こども教育学部	4	7	2	0	13	8 (4)	
計	19	16	7	3	45	26 (19)	
備考	1. 「設置基準で定める専任教員数」欄の「別表第 1」は、大学設置基準第 10 条別表第 1「学部の種類及び規模に応じ定める専任教員数」の「イ」に基づく教員数を表す。 2. 「設置基準で定める専任教員数」欄の「別表第 2」は、大学設置基準第 10 条別表第 2「大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数」の備考 2 に基づく教員数を表す。 3. 「設置基準で定める専任教員数」欄に示す教員数の () 内は、大学設置基準第 13 条別表第 1 のイの備考第 1 号に定める教授数（専任教員数の半数以上）を表す。 4. こども教育学部については、「大学設置基準第 61 条の規定に基づき新たに大学等を設置し、又は薬学を履修する課程の修業年限を変更する場合の教員組織、校舎等の施設及び設備の段階的な整備が可能。						

専任教員の学部ごとの年齢別の構成（令和6年5月1日現在）

（単位 人）

学部名	職 位	70歳以上	60歳～69歳	50歳～59歳	40歳～49歳	30歳～39歳	29歳以下	計
現代文化学部	教授	0	4	3	1	0	0	8
	准教授	0	0	0	5	0	0	5
	講師	0	0	1	0	1	0	2
	助教	0	0	0	0	2	0	2
計		0	4	4	6	3	0	17
学部名	職 位	70歳以上	60歳～69歳	50歳～59歳	40歳～49歳	30歳～39歳	29歳以下	計
生活科学部	教授	0	4	3	0	0	0	7
	准教授	0	0	3	1	0	0	4
	講師	0	1	1	1	0	0	3
	助教	0	0	0	0	1	0	1
計		0	5	7	2	1	0	15
学部名	職 位	70歳以上	60歳～69歳	50歳～59歳	40歳～49歳	30歳～39歳	29歳以下	計
こども教育学部	教授	0	3	1	0	0	0	4
	准教授	0	0	5	2	0	0	7
	講師	0	0	1	0	1	0	2
	助教	0	0	0	0	0	0	0
計		0	3	7	2	1	0	13

教員一人当たり学生数（令和 6 年 5 月 1 日現在）

（単位 人）

学部名	専任教員数 〔助手を除く〕	収容定員	在籍学生数					教員一人当たり 学生数	
			1 年	2 年	3 年	4 年	計	収容定員基準	在籍学生数基準
現代文化学部	17	300	43	51	40	62	196	17.6	11.5
生活科学部	15	300	67	56	70	83	276	20.0	18.4
こども教育学部	13	140	40	20	－	－	60	10.8	4.6
合 計	45	740	150	127	110	145	532	16.4	11.8

収容定員充足率（令和 6 年 5 月 1 日現在）

（単位 人）

学部名	収容定員	在籍学生数					収容定員充足率 (%)
		1 年	2 年	3 年	4 年	計	
現代文化学部	300	43	51	40	62	196	65.3
生活科学部	300	67	56	70	83	276	92.0
こども教育学部	140	40	20	－	－	60	42.8
合 計	740	150	127	110	145	532	71.9

専任教員と非常勤教員の比率（令和 6 年 5 月 1 日現在）

（単位 人）

学部名	専任教員数	専任教員 による担当 授業科目数	非常勤教員 による担当 授業科目数	専任と非常勤の 比率 (%)	
				専任	非常勤
現代文化学部	17	150	52	74.3	25.7
生活科学部	15	80	46	63.5	36.5
こども教育学部	13	47	25	65.3	34.7
計	45	277	123	69.3	30.8

(4) 校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境

校地・校舎の概要

本学は熊本市及び菊陽町に九品寺と武蔵ヶ丘 2 つのキャンパスを有している。

九品寺キャンパスは熊本市の中心部に位置しており、学園本部、大学（現代文化学部、生活科学部）、短期大学部（総合生活学科、食物栄養学科）、高等学校及び中学校がある。九品寺キャンパスの校舎配置図は図 1 に、校舎の概要は表 1 に示すとおりである。

一方、武蔵ヶ丘キャンパスは熊本市中心部から車で 30 分程の熊本市北東部のベッドタウンに位置し、大学（こども教育学部）、短期大学部（幼児教育学科）及び大学附属こども園がある。キャンパスの周辺は閑静な住宅街と豊かな自然環境に囲まれており、また、キャンパスの中央には手入れの行き届いた庭園が配置され、学生の憩いの場となっている。武蔵ヶ丘キャンパスの校舎配置図は図 2 に、校舎の概要は表 2 に示すとおりである。

校地面積は 44,917 m²で大学設置基準上必要な面積の約 6.7 倍を確保している。

また、校舎面積は 17,645 m²で大学設置基準上必要な面積の約 2.5 倍を確保している。

運動場・体育施設

九品寺キャンパスには、敷地内に短期大学部や高等学校などの校舎があり平成 25 年 1 月にイベント等を行うことができる尚綱アリーナ（高等学校・中学校と共用）が完成した。

一方、武蔵ヶ丘キャンパスには体育館、運動場及びプールがある。体育館のメインアリーナはバスケットボールコートを 2 面とれる広さがあり、その他に卓球場や多目的ホール、部室棟などの設備がある。

課外活動の状況及びその施設

本学では、学生会を組織し、新入生歓迎会、学園祭、スポーツ大会などの学生による自治活動を行っている。これら学生会の活動は学生支援委員会並びに学生支援課で支援しており、年 2 回の学生役員会並びに学生総会には学生支援委員が陪席している。

また、課外活動への支援・指導は各クラブ顧問によって行われ、学生支援課が相談窓口を担っている。課外活動は、九品寺キャンパスで 18 団体（文芸部、中国語圏サークル、韓国語サークル、献血サークル、茶の湯同好会(部)、食品研究サークル、和食文化サークル、軽音楽部、食ハピ、ハンドメイド研究会、創作サークル、野外活動サークル、ASOBIBA、ダンスサークル、YURUSUPO、スポーツ栄養サークル、SPORT 同好会、YouTube 同好会）、武蔵ヶ丘キャンパスで 11 団体（美術部、クッキングクラブ、陸上競技同好会、尚綱シンママ応援団、吹奏楽サークル、レクリエーションクラブ、こころくらぶ、日韓・こども教育・文化交流、おもちゃ作り、特別支援ボランティア SNE、スイーツ ICT 同好会）があり、活発に活動している。

課外活動施設については、九品寺キャンパスでは、クラブ室を 11 室設けており、クラブ室が無いサークルは学生ホールや教室を利用するか、学外に出向いて活動している。武蔵ヶ丘キャンパスでは、体育館 1 階部分に 10 室を設けている。

学生会は、学生総会、役員会等の運営を行い、九品寺キャンパスでは、同キャンパス内にある短大学生会と新入生歓迎行事、学園祭等の企画、運営、実施にあたっている。

休息を行う環境、その他の学習環境

	九品寺キャンパス	武蔵ヶ丘キャンパス
学生の休息のための施設・空間	学生ホール約 100 席 グローバルラウンジ約 30 席 ラーニングコモンズ約 40 席 自動販売機 6 台	学生ホール約 60 席
保健室、カウンセリングルーム	保健室 養護教諭が常駐 ベッド数 3 床 車椅子 1 台 カウンセリングルーム	保健室、養護教諭が常駐 AED1 台 ベッド数 4 床 車椅子 1 台 カウンセリングルーム
食堂	学生食堂 営業時間 11:00～14:00 座席数約 200 席 自動販売機 2 台	学生食堂 営業時間 11:00～14:00 座席数約 340 席 自動販売機 2 台
売店など	コンビニエンスストア（生活彩家） 営業時間 7:00～19:00 コピー機 AED1 台	コンビニエンスストア（生活彩家） 営業時間 8:00～18:30 自動販売機 2 台 ATM（肥後銀行）1 台 コピー機

図1 九品寺キャンパス校舎配置図

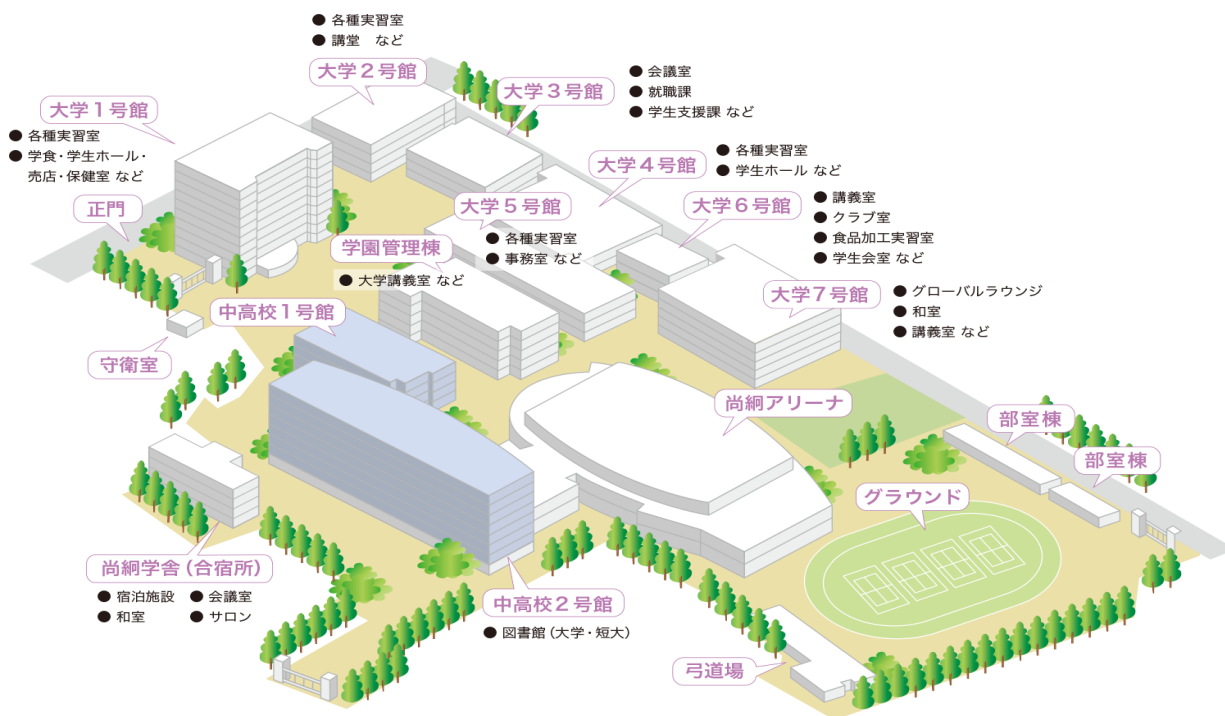


表1 九品寺キャンパス校舎概要

1	1号館	1F 学生食堂・コンビニエンスストア（生活彩家）、学生ホール 2F 大学事務局長室、1201号室、カウンセリング室、保健室、尚綱食育研究センター 3F 1301号室、1302号室、大会議室、小会議室 4F 栄養調理実習室、更衣室 5F 栄養教育実習室、リフレッシュルーム、卒業研究室 6F 臨床栄養実習室、食品加工・食品学実習室 7F 精密機器室、卒業研究室 8F 研究室 9F セミナー室、研究室 10F 大講義室									
2	2号館	1F 給食経営管理実習室、試食室 2F 共同実験室 3F 情報処理教室 4F 講堂									
3	3号館	BF 地下会議室 1F 入試センター、入試アドバイザー室、学生支援課、就職・進路支援センター、就職資料室 2F 3201号室、3202号室 3F 3301号室									
4	4号館	1F 第2調理実習室、学生ホール、尚綱サポートセンター 2F デザイン演習室、衣服実習室、研究室、ボランティア支援センター									
5	5号館	BF 卓球室、学生ロッカー室 1F 事務室、第3調理実習室 2F 学長室、大学企画室、5201号室、染色実習室、研究室、講師控室 3F 生化学・食品化学実習室、食品衛生・解剖生理実習室、研究室									
6	6号館	1F 食品加工実習室、学生会室、クラブ部室 2F 6201号室、6202号室、研究室									
7	7号館	1F クラブ室、ロッカー室、ラーニングコモンズ、グローバルラウンジ 2F 7201号室、学生ホール 3F 7301号室～7307号室、会議室A、会議室B 4F ミーティングルーム、研究室 5F 研究室									
8	学園管理棟	BF 会議室、和室 1F 学園事務局、理事長室、常務理事室、会議室 2F 管201号室 3F 管301号室、管302号室 4F 管401号室、管402号室 5F 管理棟5階ホール									
9	中高校1号館	中高校事務室、校長室、職員室他									
10	中高校2号館	1F 図書館本館（学修支援センター） 2F 中高校図書館 3F～8F 中高校教室他				11	尚綱学舎 （セミナーハウス）	12	尚綱アリーナ	13	正門
14	弓道場	15・16	部室棟	17	北門	18	南門	19	グラウンド		

図2 武蔵ヶ丘キャンパス校舎配置図

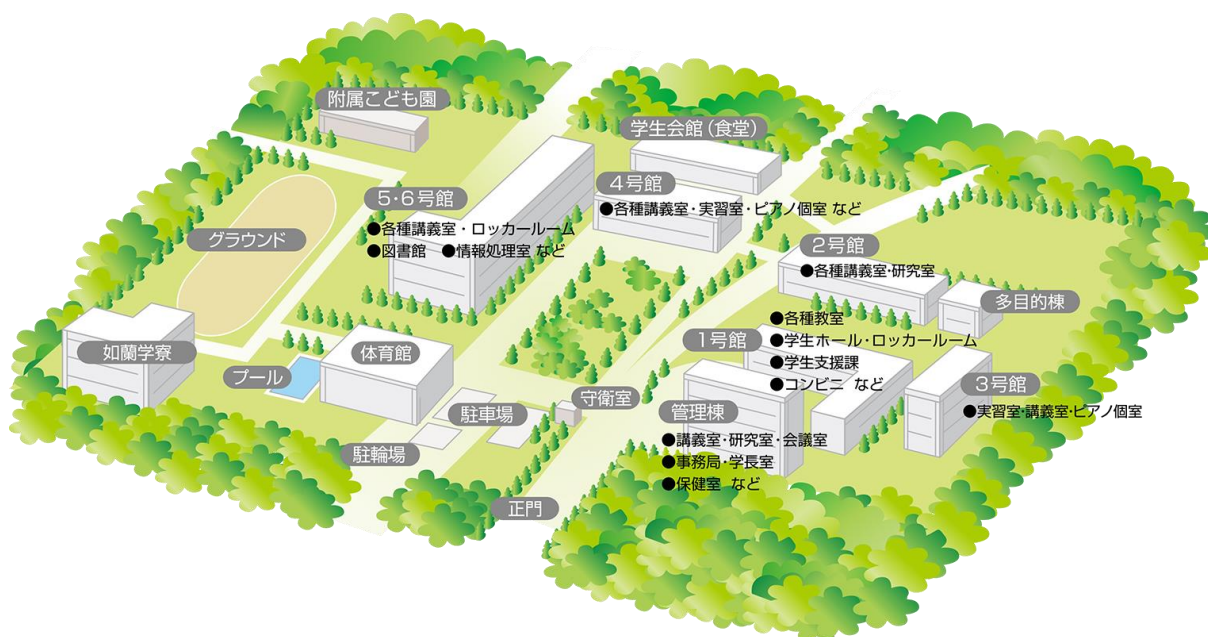


表2 武蔵ヶ丘キャンパス校舎概要

1	1号館	1F コンビニエンスストア(生活彩家)、コンビニ控室、第1図工教室、学生ホール、第1ロッカールーム 2F 1201号室～1223号室(ピアノ個室23室)、第1音楽教室、研究室、リトミック室、第1講師控室、学生会室					
2	2号館	1F 2101～2103講義室、スタディールーム、研究室、第1演習室 2F 2203号室～2214号室(ピアノ個室12室)、2201号室、パソコン自習室、研究室、2202号室					
3	3号館	1F 調理実習室 2F 3201号室 3F 3301号室～3317号室(ピアノ個室17室)、第1ピアノ演習室、第2ピアノ演習室					
4	4号館	1F 4101号室～4104号室、特別支援準備室 2F 4201号室、4202号室、特別支援室、保育実習室、保育実習準備室、実習支援室 3F 4301号室～4308号室、4309号室～4323号室(ピアノ個室)					
5	5・6号館	1F 第2ロッカールーム、5101号室、6101号室、6102号室、図書館分館第1書庫 2F 図書館分館 3F 第1情報処理教室、第2情報処理教室、第2図工教室、第2音楽教室					
6	管理棟	1F 事務室、保健室、応接室 2F 第2講師控室、役員室、学長室、尚絅子育て研究センター、カウンセリング室 3F 研究室、卒論演習室 4F 会議室、研究室 5F 大講義室					
7	正門	8	守衛室	9	学生会館 (食堂・茶室)	10	駐輪場
11	体育館	12	プール	13	如蘭学寮	14	グラウンド
15	こども園園舎						

情報サービス施設

九品寺キャンパス、武蔵ヶ丘キャンパスともに情報処理教室が設置されている。座席数は九品寺キャンパスの情報処理教室が90席、武蔵ヶ丘キャンパスの情報処理教室が84席である。また、学生用パソコン2台の間に中間モニターを設置し、教員用パソコンから画面情報や資料などを表示させて、学生が講義内容を理解するのに役立っている。いずれのキャンパスの情報処理教室も可動式のパーティションを設置しているので、教室を分割して利用することも可能である。

情報処理教室は、授業のない時間帯には学生に開放しており、学生は自習室として利用することも可能である。

その他の情報サービス施設としては、九品寺キャンパスにおいては、就職資料室に3台、図書館に10台、4号館学生ホール10台、7号館学生ホール12台、グローバルラウンジ6台、ラーニングコモンズ8台のパソコンを学生用に設置している。また、武蔵ヶ丘キャンパスにおいては、パソコン自習室に18台、図書館に6台、学生ホールに2台のパソコンを設置している。

図 書 館

「尚綱大学図書館」は、九品寺キャンパスの「本館」と武蔵ヶ丘キャンパスの「分館」からなる、大学及び短期大学部専用の図書館である。本館と分館の規模及び蔵書数を表3と表4に示す。

表3 図書館の規模

図書館の名称	面積 (㎡)			学生閲覧室の 座席数 (a)	学生収 容定員 (b)	収容定員に対 する座席数の 割合 (%) (a) / (b) × 100	備 考
	全体	閲覧 スペース (内数)	書庫 スペース (内数)				
尚綱大学図書館本館	1,246	713	223	82	905	9.1	現代文化学部 300 名 生活科学部 300 名 短期大学部 305 名
尚綱大学図書館分館	941	197	718	101	340	29.8	こども教育学部 140 名 短期大学部 200 名
計	2,187	910	941	183	1,245	14.7	

表4 図書館の蔵書数（令和6年5月1日現在）

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類		視聴覚資料の 所蔵数(点数)	電子ジャーナルの 種類 (種類)
	図書の冊数	開架図書の冊 数(内数)	内国書	外国書		
尚綱大学図書館本館	149,354	69,994	704	35	2,371	0
尚綱大学図書館分館	95,758	95,758	1,745	47	4,186	0
計	245,112	165,752	2,449	82	6,557	0

<アクセスマップ>

九品寺キャンパス



■尚綱大学・尚綱大学短期大学部

現代文化学部：文化コミュニケーション学科

生活科学部：栄養科学科 短期大学部：総合生活学科、食物栄養学科

■尚綱高等学校

■尚綱中学校

■尚綱大学図書館本館・尚綱中学高等学校図書館

J R ・ バス	J R 鹿児島本線 熊本駅下車
	熊本都市バス第一環状線
	大学病院方面まわり「尚綱校前」下車、徒歩1分
	(逆まわりにご注意下さい)
市電	市電(健軍行)「九品寺交差点」下車、徒歩1分
タクシー	桜町熊本バスターミナルより10分

〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78

T E L 096-362-2011

F A X 096-363-2975

武蔵ヶ丘キャンパス



■尚絅大学・尚絅大学短期大学部

こども教育学部：こども教育学科

短期大学部：幼児教育学科

■尚絅大学附属こども園

■尚絅大学図書館分館

J R	J R 豊肥本線 「武蔵塚駅」 下車徒歩 20 分
バス	熊本桜町バスターミナル 17 番のりば 電鉄バス「C5」系統 (北熊本、菊池、武蔵ヶ丘、光の森方面行き)
	「尚絅大学前」 下車徒歩 1 分
タクシー	熊本桜町バスターミナルより約 25 分

〒861-8538 熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北 2-8-1

T E L 096-338-8840

F A X 096-338-9301

(5) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用（令和6年度）

学科名	学年	入学金	授業料	施設設備資金	初年度合計
文化コミュニケーション学科	1 年	220,000 円	670,000 円	220,000 円	1,110,000 円
	2～4 年	—	670,000 円	220,000 円	890,000 円
栄養科学科	1 年	220,000 円	750,000 円	320,000 円	1,290,000 円
	2～4 年	—	750,000 円	320,000 円	1,070,000 円
こども教育学科	1 年	220,000 円	670,000 円	220,000 円	1,110,000 円
	2 年	—	670,000 円	220,000 円	890,000 円

※ 入学金は初年度のみ、納付となります。

※ 授業料、施設設備資金は年額であり、前期、後期に分納できます。

※ 各種免許、資格取得希望者の学外実習に要する費用、実験実習費、その他保険料（傷害、賠償責任）が別途必要です。

※ 既納の納付金等は、事由のいかんを問わず返金いたしませんのでご注意ください。
ただし、入学金を除く納付金は、入学する月の前月末日までに、文書（本学所定）で入学
辞退による返還を求めた場合に限り返金します。

※ 一般選抜及び大学入学共通テスト利用型選抜ですでに入学手続きを済ませて、他の学部
や学科をもう一度受験して合格した場合、入学金の振替ができます。

(6) 教材購入費

本学においては、学生生活4年間の必要経費として、授業料、施設設備資金、実験実習費
及び傷害保険料等の雑費の他、教科書等の教材費が必要です。その額は、授業内容等により
年度によって必要額が異なりますが、4年間でおよそ以下のとおり見込まれます。

現代文化学部	・・・・・・約 20 万円程度
生活科学部	・・・・・・約 30 万円程度
こども教育学部	・・・・・・約 20 万円程度

(7) 校舎等の耐震化率

(8) 寄附行為

(9) 役員名簿

(10) 役員報酬等基準

(11) 外部資金獲得状況

令和4年度 外部金の獲得状況

科学研究費助成事業 新規採択件数 3 件 10,270 千円

研究受託事業「乳の学術連合」2022 年度領域横断研究	1,200 千円
令和 5 年度 外部金の獲得状況	
科学研究費助成事業 新規採択件数	5 件 24,960 千円
令和 6 年度 外部金の獲得状況	
科学研究費助成事業 新規採択件数	0 件 0 千円
研究助成事業 熊本県栄養士会研究助成	100 千円
奨学寄附金 西田精麦(株)	50 千円
研究助成事業 (一社) 全国栄養士養成施設協会 社会貢献活動への助成金	70 千円
受託研究事業 (公財) アジア女性交流・研究フォーラム	539 千円

2. 修学上の情報等

(1) 教員組織、各教員が有する学位及び業績

現代文化学部（ホームページ／教員紹介）

生活科学部（ホームページ／教員紹介）

こども教育学部（ホームページ／教員紹介）

(2) 3つのポリシー

①入学者に関する学生受入方針（アドミッションポリシー）

<現代文化学部>

尚絅大学は、尚絅学園の建学の精神及び大学の理念を理解し尊重する学生を求めます。

現代文化学部は、高度な日本語運用能力、多様な文化と社会に関する知識を身に付けた上で、高度情報化とグローバル化が進行する日本社会に貢献できる人材を育成することを目指し、次のような学生を求めています。

- (1) 日本の表現文化に興味がある人
- (2) 現代的な情報技術に基づいたメディアコミュニケーションに興味がある人
- (3) 国際交流や、国内外の様々な地域文化に関心がある人
- (4) 観光を通じて、地域社会や地域文化の発展に貢献したい人

入学を希望する人には、高等学校等において、国語・英語を中心とした基礎学力（知識・思考力・判断力・表現力）を習得し、高等学校等における活動などを通じて主体的かつ協働して物事に取り組む力を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、演習等において、問題解決力およびアクティブ・ラーニングにおいて様々な課題を教員・他の学生と協働して探求・解決する力を本格的に育成するために必要となります。

入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、編入学選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜及び外国にルーツを持つ生徒対象選抜を採用し、上記のような能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

・一般選抜では、国語、英語の記述式試験、調査書及び自己申告書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。英語について、4 技能（聞く・読む・話す・書く）を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。

・一般選抜（総合問題）では、小論文を含む総合的な記述式試験及び調査書において知識・技能、

思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・大学入学共通テスト利用型選抜では、国語、外国語、情報Ⅰから2科目及び調査書において知識・技能、思考力・判断力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・学校推薦型選抜では、小論文、調査書、推薦書及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・総合型選抜では、体験授業、面接、自己申告書等及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・総合型選抜（自己推薦型）では、自己推薦書、面接及び調査書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・編入学選抜では、小論文及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・社会人選抜では、2年以上の社会人経験を有する方を対象に、小論文及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び基礎学力と共に社会人としての経験や実績に基づき多様な人々と主体的に協働して学ぶ力を総合的に評価し選抜します。

・外国人留学生選抜では、作文及び面接において基礎的な日本語能力及び日本で学習する意欲等を総合的に評価します。

・外国にルーツを持つ生徒対象選抜では、自己申告書及び面接において基礎的な日本語能力を、調査書において知識・技能、学習する意欲等を総合的に評価します。

<生活科学部>

尚絅大学は、尚絅学園の建学の精神及び大学の理念を理解し尊重する学生を求めます。

生活科学部は、健康の保持・増進や疾病の予防・治療を目的にした栄養指導、医療・福祉・教育分野での栄養管理、食育、食品の研究・開発などに強い関心を持ち、食・栄養の専門家としての高度な知識・技能の修得を目指したい学生や管理栄養士等の食や栄養に関する資格取得を目指して努力できる学生を求めます。

具体的には、次のような意欲にあふれた人を求めます。

- (1) 生活科学部の履修に必要な基礎学力を持ち、主体的に勉学を遂行できる人
- (2) 実践力のある管理栄養士や栄養教諭として、社会に貢献しようと考えている人
- (3) 食品の加工、開発、製造、衛生管理、流通等の専門家として、産業界で活躍したいと考えている人
- (4) 他の専門家との連携やチームワークの重要性を理解し、食・栄養の専門家として、多様な分野の課題解決に取り組みたいと考えている人

入学を希望する人には、高等学校等において、生物、化学、物理、数学など、生命科学を学ぶための基礎知識や思考力・判断力を習得し、主体的に他者とのコミュニケーションを円滑に行うために国語や英語の基礎学力を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、実験・実習・演習等において、他の学生と協働して様々な課題を探究・解決する能力を育成するために必要となります。

入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、編入学選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜及び外国にルーツを持つ生徒対象選抜を採

用し、上記のような能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

・一般選抜では、国語、英語、生物基礎、化学基礎から2科目の記述式試験、調査書及び自己申告書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。英語について、4技能（聞く・読む・話す・書く）を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。

・一般選抜（総合問題）では、小論文を含む総合的な記述式試験及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・大学入学共通テスト利用型選抜では、国語、外国語、数学、理科からの選択及び調査書において知識・技能、思考力・判断力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・学校推薦型選抜では、口頭諮問、調査書及び推薦書において一般教養、生物基礎及び化学基礎の分野から知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・総合型選抜では、体験・面接または口頭試問に加え、調査書及び自己申告書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・総合型選抜（自己推薦型）では、自己推薦書、口頭試問及び調査書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・編入学選抜では、学力試験及び面接において、栄養士養成専門教育に関する分野から、知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・編入学選抜（社会人対象）では、2年以上の社会人経験を有する方を対象に、小論文及び口頭試問において思考力・判断力・表現力及び基礎学力・技能と共に社会人としての経験と実績に基づき主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。

・社会人選抜では、2年以上の社会人経験を有する方を対象に、小論文及び口頭試問において思考力・判断力・表現力及び基礎学力・技能と共に社会人としての経験と実績に基づき主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。

・外国人留学生選抜では、作文及び面接において基礎的な日本語能力及び日本で学習する意欲等を総合的に評価します。

・外国にルーツを持つ生徒対象選抜では、自己申告書及び面接において基礎的な日本語能力を、調査書において知識・技能、学習する意欲等を総合的に評価します。

<こども教育学部>

尚絅大学は、尚絅学園の建学の精神及び大学の理念を理解し尊重する学生を求めます。

こども教育学部は、子どもを内面から理解し指導する力、具体的な保育を構想する力、家庭や地域社会との関係を構築する力、障害のある子どもにも対応できる力を持った保育者の育成を目指し、次のような学生を求めています。

(1)子どもを愛し、子どもの最善の利益を守り、高い倫理観・使命感・責任感を持って子どもの保育を行いたいと考える人

(2)高度な専門性に支えられた保育を実践するとともに、自ら学び続ける保育者になりたいと考える人

(3)実践的に子どもと関わるとともに、子どもや保育を研究することで保育の質の向上に貢献したいと考える人

(4)特別な支援を必要とする子どもを理解し、育ちを支える保育者を目指したいと考える人

(5)家庭や地域社会と連携し、保育者として社会に貢献したいと考える人

入学を希望する人には、高等学校等において、国語・英語を中心とした基礎学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を習得し、高等学校等における活動などを通じて、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、演習、実習等において、教員や他の学生と協働して様々な課題を探究し解決する力を本格的に育成するために必要となります。

入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、編入学選抜、社会人選抜及び外国人留学生選抜を採用し、上記のような能力・適性・意欲等を多面的・総合的に評価します。

・一般選抜では、国語、英語の記述式試験、調査書、大学入学志望理由書及び面接において、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を総合的に評価し選抜します。

英語について、4技能（聞く・読む・話す・書く）を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。

・大学入学共通テスト利用型選抜では、国語、外国語の筆記試験、調査書、大学入学志望理由書において、知識・技能、思考力・判断力、主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を総合的に評価し選抜します。

・学校推薦型選抜では、小論文、調査書、大学入学志望理由書、推薦書及び面接において適性や意欲、また、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を総合的に評価し選抜します。

・総合型選抜では、体験授業、調査書、自己申告書、大学入学志望理由書及び面接等において適性や学習に対する意欲・目的意識等を、また、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を多面的・総合的に評価し選抜します。

・総合型選抜（自己推薦型）では、体験授業、調査書、自己推薦書、大学入学志望理由書及び面接等において適性や学習に対する意欲・目的意識等を、また、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等多面的・総合的に評価し選抜します。

・編入学選抜では、小論文、大学入学志望理由書及び面接において、知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を総合的に評価し選抜します。

・社会人選抜では、2年以上の社会人経験を有する者を対象に、小論文、大学入学志望理由書及び面接において、知識・技能、思考力・判断力・表現力及び基礎学力と共に、社会人としての経験や実績に基づき主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を総合的に評価し選抜します。

・外国人留学生選抜では、作文、大学入学志望理由書及び面接において、基礎学力や基本的な日本語能力及び日本で学習する意欲や適性、主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度等を総合的に評価し選抜します。

②教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

<現代文化学部>

現代文化学部は、学則に掲げる目的に基づき、ディプロマ・ポリシーで示す能力を修得させるため、以下のような方針でカリキュラムを編成します。

- (1) 大学教育への円滑な導入を図る初年次教育として、自主的思考力を涵養し、汎用的技能と専門的知識の修得に必要な基礎学力をつけるための科目を配置します。
- (2) 幅広く教養を培い、豊かな情操や高い倫理観を涵養するために、教養教育科目を配置し、高度な専門的知識・技能を育成するために、専門教育科目を専門導入科目から段階的、系統的に展開します。
- (3) 日本語および外国語の運用力に基づく、高度なコミュニケーション力の修得のために、教養教育科目で日本語運用能力養成領域および多文化コミュニケーション領域と、専門教育科目で実践外国語科目を配置します。
- (4) 日本および東アジアの社会と文化に関する諸問題を様々な角度から調査・分析する能力を修得するために、教養教育科目に調査分析基礎領域、専門教育科目に「文芸文化」、「情報メディア文化」、「日本・東アジア社会文化」、「観光文化」の4領域を配置し、4領域から2つを学ぶ構成とします。
- (5) ビジネスや行政の場で協働して問題が解決できる能力を育成するために、専門教育科目で共通実践科目を配置します。
- (6) 文化を様々な角度から分析する視座を確立する領域として、文芸文化領域、日本・東アジア社会文化領域、観光文化領域、そして情報メディアおよび現代的なサブカルチャーに関する分析能力を育成する情報メディア文化領域の4つの領域を置きます。
- (7) 文化理解の視座を確立することを目的とする4領域に関しては、卒業後の進路に応じて、2つの領域を組み合わせた形で学修を提供すべくデザインします。
- (8) 卒業研究に関しては、各領域から1名ずつの指導教員を配置し、多面的な見方から文化を分析する能力を育成します。

<生活科学部>

生活科学部は、学則に掲げる目的に基づき、ディプロマ・ポリシーで示す能力を修得させるため、以下のような方針でカリキュラムを編成します。

- (1) 大学教育への円滑な導入を図る初年次教育として、自主的思考力を涵養し、汎用的技能と専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけるための科目を配置します。
- (2) 幅広く深い教養を培い、豊かな情操や高い倫理観を涵養するために、教養教育科目を配置します。
- (3) 栄養士養成課程及び管理栄養士養成課程として必要な科目を中核とし、管理栄養士に必要な高度な専門的知識・技能を育成するために、専門教育科目（専門基礎分野及び専門分野）を段階的、系統的に展開します。また、適切な態度・倫理観、さらにそれらを背景としたコミュニケーション力を育成するために、実験・実習・演習を体系的に配置します。
- (4) 栄養士・管理栄養士としての創造的思考力・判断力、社会性、協調性を育成するために、専門的知識と技能の統合的・実践的学修の場として、「管理栄養士総合演習」「臨地実習」「卒業研究」を配置します。
- (5) 栄養教諭（一種）が備えるべき教育学的見識と十分な指導・教育力を育成するために、教養教

育および専門教育と連動するかたちで、教育職員免許状取得を目指す教職課程を配置します。

- (6) 食品衛生監視員（任用資格）、食品衛生管理者（任用資格）、その他の資格を取得するための科目を配置します。

＜こども教育学部＞

こども教育学部は、学則に掲げる目的に基づき、ディプロマ・ポリシーで示す能力を修得させるため、以下のような方針でカリキュラムを編成します。

- (1) 大学教育への円滑な導入を図る初年次教育として、思考力を涵養し、汎用的技能と専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけるための科目を配置します。
- (2) 幅広く深い教養を培い、豊かな情操や高い倫理観を涵養するために、教養教育科目を配置します。
- (3) 幼稚園教諭養成課程及び保育士養成課程として必要な資質・能力を養うために必要な科目を中心に専門教育科目を段階的、系統的に配置します。また保育者として学び続ける態度を涵養するとともに、実習・実習指導・実践演習等を系統的に配置し、省察を深め資質・能力の向上を図ります。
- (4) 特別な支援を必要とする乳幼児を理解し、保育する力を養うための科目を系統的に配置します。また、特別支援学校教諭の養成課程を設け、特別な支援について、より学びを深めることができるようにします。
- (5) 幼児教育、保育、特別支援教育について専門性を深めるための特色ある科目を系統的に配置し、4年次では、それまでに培った実践力・研究力を基に卒業研究を行います。
- (6) 幼児教育、保育、特別支援教育の専門職としての対人的な基本的資質・能力を育成し、他者との適切なコミュニケーションにおいて受容・理解・共感し、周囲と連携・協働しながら安全に組織を運営する力を身につけるための科目を配置します。

③学位授与の方針（ディプロマポリシー）

＜現代文化学部＞

現代文化学部は、建学の精神のもと、教育研究の目的に則り、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、「学士（文学）」の学位を授与します。

- (1) 日本語および外国語の運用力に基づく、高度なコミュニケーション力を修得している。
- (2) 伝統的および現代的な日本文化に関する深い知識に基づき、古代から現代に至る日本文化を調査・分析する能力を修得している。
- (3) 高度情報化とグローバル化が進行した日本の地域社会・地域文化、および東アジアの社会文化に関する幅広い知見に基づき、日本社会・文化に関する諸問題を調査・分析する力を修得している。
- (4) 上述の能力を総合的に活用して、ビジネスや行政の場で協働して問題を解決できる。

＜生活科学部＞

生活科学部は、建学の精神のもと、教育研究の目的に則り、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「学士（栄養学）」の学位を授与します。

- (1) 幅広い社会的関心と教養を有するとともに、社会人としての使命感・倫理観を備え、豊かな人間性に基づく優れたコミュニケーション力を身につけている。

- (2) 栄養・健康・医療に関する専門的知識を基盤とした実践的能力を修得するとともに、科学的かつ数理統計的な視野により最新の情報を総合的に理解・分析・活用できる能力を身につけている。
- (3) 食や食品等に関する専門職としての役割を理解し、食品・食品加工・食品開発等の専門的技能を有し、社会に貢献しようとする態度を備えている。
- (4) 積み上げてきた体系的知識・技能を用いて、保健・医療・福祉・食品・教育・行政分野等の課題に対して、専門職としての的確な考察・判断を行う能力を持ち、他職種との連携のもと、実践に移す能力を身につけている。

＜こども教育学部＞

こども教育学部は、建学の精神のもと、教育研究の目的に則り、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「学士（教育学）」の学位を授与します。

- (1) 保育専門職また社会人として豊かな教養に支えられた総合的な人間力を身につけている。
- (2) 社会に貢献し得る専門的知識・技能を常に求めて学び続けるとともに、研究を深めて課題を発見・解決する力を身につけている。
- (3) 一人一人の子どもへの深い洞察と環境への理解に基づき、保育・教育を構想・実践・評価し向上させる力を身につけている。
- (4) 特別な支援を必要とする子どもに対して、適切な理解に基づいて保育を実践し、育ちを支える力を身につけている。
- (5) 保護者など子どもを取り巻く人々に対し共感をもって深く理解し、援助しつつともに子どもを育てていく力を身につけている。
- (6) 家庭や地域社会とのつながりを重視し、周囲と連携・協働して安全に組織を運営していく力を身につけている。

(3) 入学定員、入学者数、収容定員、在籍者数

令和6年度の学生数の状況（令和6年5月1日現在）

（単位 人）

学部・学科名	入学定員	入学者数	収容定員	在籍者数
現代文化学部 文化コミュニケーション学科	75	42	300	196
生活科学部 栄養科学科	70	65	300	276
（生活科学部3年次編入学）	10	12		
こども教育学部 こども教育学科	70	40	140	60
（3年次編入は令和7年度入試から実施します。）	-	-	-	-
計	225	159	740	532

(4) 入学者数、退学者数、除籍者数、中退者数、中退率及び留年者数の推移 (単位 人)

年度	学部	入学者数	在籍者数 (A)	退学者数 (B)	除籍者数 (C)	中退率(%) (B)+(C)/(A)	留年者数
R3 年度	現代文化学部	55	169	2	0	1.2	2
	文化言語学部	募集停止	2	1	0	50	2
	生活科学部	68	314	8	0	2.5	4
	計	123	485	11	0	2.3	8
R4 年度	現代文化学部	42	180	3	1	2.2	1
	生活科学部	66	299	2	0	0.7	2
	計	108	479	5	1	1.3	3
R5 年度	現代文化学部	52	196	4	0	2.0	3
	生活科学部	56	284	2	0	0.7	3
	こども教育学部	20	20	0	0	0	0
	計	128	500	6	0	1.2	6

(5) 社会人学生数、留学生数及び海外派遣学生数

(令和 6 年 5 月 1 日現在)

(単位 人)

学部名	社会人学生数					留学生及び海外派遣学生数				
	1 年	2 年	3 年	4 年	計	1 年	2 年	3 年	4 年	計
現代文化学部	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
生活科学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
こども教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2

備考 社会人学生数、留学生数は、それぞれ社会人入試、外国人留学生入試によって入学した学生数である。

(令和 6 年 5 月 1 日現在)

留学先	海外派遣学生数 (内数：長期交換留学人数)		
	2021 年	2022 年	2023 年
慈済大学 (台湾)	8* (0)	1 (1)	9
仁徳大学校 (韓国)	－	10 (3)	6
上海杉達学院 (中国)	－	0	
Southern University College (マレーシア)	－	0	
高雄大学 (台湾)		1 (1)	1
済州大学校 (韓国)		2 (2)	
ハワイ大学マノア校 (アメリカ)	1* (0)	0	
合計	9* (0)	14 (7)	16

備考 *オンライン留学人数 (新型コロナウイルスによる留学中止のため)

※詳細参照⇒<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/international>

(6) 入学者（出身校県別）※編入除く

都道府県	現代文化学部	生活科学部	こども教育学部
熊本県	38	59	39
宮崎県	0	3	0
福岡県	0	0	1
長崎県	1	0	0
大分県	0	1	0
鹿児島県	1	1	0
沖縄県	1	0	0
山梨県	2	1	0
計	42	65	40

(7) 卒業者数、就職希望者数、就職者数、就職率及び進学者数他

令和6年3月卒業生の進路先決定状況（令和6年5月1日現在）

（単位 人）

学部・学科名	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率	進学者数	その他 （就職を希望しない）
現代文化学部 文化コミュニケーション学科	41	37	37	100%	0	4
生活科学部栄養科学科	81	73	71	97%	3	5
計	122	110	108	98%	3	9

※詳細参照⇒<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/career/data>

※こども教育学部記載はなし

(8) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画

令和6年度開講授業科目シラバス

現代文化学部（シラバス）

生活科学部（シラバス）

こども教育学部（シラバス）

(9) 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準

①学修の成果に係る評価

令和6年度開講授業科目シラバス

現代文化学部（シラバス）

生活科学部（シラバス）

こども教育学部（シラバス）

②卒業の認定に当たっての基準（必修・選択科目別の必要単位修得数）

卒業に必要な最低修得単位数は、次のとおりとする。

(カリキュラム)

<現代文化学部>

主たる 領域	教養教育科目				専門教育科目				合計
	必修 科目	選択必修科目	選択科目	計	必修科目	選択必修科目	選択科目	計	
文芸 文化	20 科目 26 単位	多文化コミュニケーション 科目のうち中国語または韓国語を選択し、その言語のすべての科目 (6 科目 6 単位)	教養教育科目の 最低修得単位数 である 40 単位 から、必修及び 選択必修で修得 した単位を減じ た単位以上	40 単位 以上	・ 3 科目 6 単位 ・ 卒業研究 6 単位	・ 専門導入科目から 12 単位以上 ・ 共通実践科目から 12 単位以上	・ 副次的領域の 科目から 10 単 位以上	84 単位 以上	124 単位 以上
情報 メディア 文 化						主たる領域の科目から 20 単位以上 (その内、主たる領域の選択必修科 目から 8 単位以上) 取得する			
日本・ 東アジ ア社会 文化					・ 3 科目 6 単位 ・ 卒業研究 6 単位	・ 専門導入科目から 12 単位以上 ・ 共通実践科目から 12 単位以上	副次的領域の科 目から 10 単位 以上		
観光 文化	観光文化領域の科目又は実践外 国語科目から 20 単位以上 (そ の内、観光文化領域の科目から 14 単位以上) 取得する								

<生活科学部>

区分		必修科目	選択必修科目	選択科目	合計
教養教育科目		7	4	13	24
専門教育科目	専門基礎分野	40	2		42
	専門分野	40	2		42
教養教育科目+専門教育科目			16		16

<こども教育学部>

区分		必修科目	選択必修科目	選択科目	合計
教養教育科目	全学共通 開講科目	-	-	8 以上	124 以上
	教養基礎	8	-		
	多文化コミュニケーション/外国語		2 (英語ⅠA・ⅠB) から1単位 (英語ⅡA・ⅡB) から1単位		
	情報・ICT	2	-		
	教育・保育の探求	18	-		
教育・保育の知識・ 技能	25				
子育て支援	0				
教育・保育の連携・ 協働	4				
特別な支援を必要とする子どもの理解と援助	10				

③取得可能学位

<現代文化学部>

学士（文学）

<生活科学部>

学士（栄養学）

<こども教育学部>

学士（教育学）

④学位授与数

卒業年月	学部名	卒業生数 (学位授与数)
R4.3	文化言語学部	1
	現代文化学部	31
	生活科学部	78
	計	110
R5.3	現代文化学部	36
	生活科学部	83
	計	119
R6.3	現代文化学部	41
	生活科学部	81
	計	122

※こども教育学部記載はなし

(10) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

①修学に係る支援

学修支援センター

本学では平成29年（2017）年10月に学修支援センターを設置し、両キャンパスにそれぞれスタディールームを開設しており、高校までの学習内容の復習や授業内容の補習の他、個別の学習・履修相談、資格取得等の幅広い相談にも応えている。

基礎セミナー

現代文化学部では、1年前期に全員必修で「基礎セミナー」の授業を開講している。本授業は、大学に入学したばかりの学生が大学生活をよりスムーズに始められるようにサポートし、建学の精神や本学の歴史から始まり、授業履修の方法、学生生活をよりよく送るための基礎知識の習得、社会人基礎力の測定などを行う。また、専門4領域の学習内容の紹介を行い、専門分野の学習の意識付けという内容も含めている。

生活科学部でも、1年前期に全員必修で「基礎セミナー」の授業を開講している。本授業は、大学での学びへの導入を意図して開講されたものであり、学生が初年次に円滑な大学生活ができるような基本的な生活や学習のスキルを身につけさせ、大学への学びに対する興味を喚起し、学修意欲の向上に取り組んでいる。

こども教育学部においても、1年前期において「基礎セミナー」を卒業必修科目として開設している。本授業において、建学の精神・教育理念及び4年間の学修の理解を図り、知りたいことを進んで学ぶための学修の進め方やプレゼンテーション、レポートの作成等について学ぶ。さらに、自己理解をもとに大学生活に必要な協働などの社会的スキルを身に付ける。

クラス担任制

各学年の学部・学科（コース）単位で担任制を取り入れ、履修相談、学生生活相談、就職・進路相談等に対応している。出欠状況、単位修得状況等を教務課から各担任に適宜知らせ、担任は年度初めの学生との懇談のほか、個人面談でそれぞれの学生の状況を把握し指導・支援するように努めている。また、クラス担任は3年次から就職指導など進路指導にも携わり、学生と密な信頼関係を築くようにしている。

オフィスアワー

全専任教員がオフィスアワー（現代文化学部2回／週、生活科学部1回／週、こども教育学部2回／週）を設けて学生の質問や相談に応じる体制を実施している。

障がいをもった学生の修学の支援

本学では平成28(2016)年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する規程」を制定し、教職員が適切に対応するために必要な事項を定め、学修支援体制を整備している。

障がいの程度は、学生ひとり一人に差があるので、学生支援委員やカウンセラー（臨床心理士、キャンパスソーシャルワーカー）が本人及び保護者から配慮すべき事項を確認し、その事項を全教職員に周知徹底することによって、学修支援体制を確立している。

学習スペースの確保

キャンパス内で学生が快適に学べる環境を提供するため、各キャンパス図書館の閲覧室を学習スペースとして開放している。また、学習スペースの利便性を高めるため、本館には個人学習用のキャレルやグループ学習室を新設し、分館ではグループ学習用のスペースと個人学習用のスペースを分離するという工夫を行っている。

臨地実習指導

生活科学部では、管理栄養士養成課程カリキュラムのため、3年次及び4年次は学外実習が義務づけられている。実習期間中、学生は少人数で各学校や施設に配属される。担当教員は実習先の担当者と綿密に相談し、充実した学修成果が得られるように実習の改善に努めている。実習ごとに実習終了時に教員と学生は学内で実習報告と反省会を開き、きめ細やかな指導を行っている。

②進路選択に係る支援

本学では、全学年を対象に春夏年2回のキャリアガイダンスを実施している。加えて、各学部学科で正課のキャリア教育、正課外の就職指導を入学年度から授業時間割に組み込み、筆記試験対策等を実施するなど、学生の進路選択を早い段階からサポートしている。また、進学も含めた進路選択についてのきめ細やかなカウンセリングを教職員で実施している。2017年（平成29年）から就職・進路支援センターを設置し、教職協働での支援体制を強化している。

③心身の健康等に係る支援

学生の健康面については、学生支援課で毎年度初めに全学生を対象に健康診断を行っている。日々の健康相談は、保健室の養護教諭により行い、毎年「学生疲労蓄積度調査」を実施し、その結果を学生個人に知らせるとともに、結果によっては保健室に相談に行くよう勧めている。

また、心的支援は養護教諭とカウンセラー（臨床心理士、キャンパスソーシャルワーカー（非

常勤))により行われている。障がい有する学生に対しては、学生支援委員会部会長、学生支援課長あるいはカウンセラー（臨床心理士、キャンパスソーシャルワーカー）が定期的に面談を行い、状況を把握している。さらにその他の学生の相談には、各学科の学生支援委員と学生支援課職員がクラス担任と連携を取り、さらにオフィスアワーを活用して細やかに対応している。

④その他学生支援の状況

本学では学生サービス、厚生補導のための組織として学生支援委員会及び各キャンパスに部会を設置し、学生支援課との連携により、学生会行事関係、奨学金関係、健康管理関係、その他福利厚生関係の業務を行っている。

学生に対する経済的な支援として、日本学生支援機構奨学金をはじめとして、地方公共団体や民間団体の奨学金の募集を行い、手続きを行っている。日本学生支援機構奨学金については、年度初めのオリエンテーションで奨学金制度を詳細に説明し応募者を募っている。家庭の事情等の個人情報に十分に配慮しながら、クラス担任による個別面談と学生支援課の担当者による相談や手続きの指導を行っている。最終的な応募者は学生支援キャンパス部会で承認を受け申請する。予約奨学生や入学後の新規採用者は年々増加しており、家計の急変により2年次や3年次で新規応募する学生も増加している。また、本学は、「大学等における修学支援に関する法律」（令和元年法律第8号）に基づき、文部科学大臣より、「高等教育の修学支援新制度」の対象機関として認定されており、支援対象の要件を満たす学生に対して、給付型奨学金の支給や、授業料等の減免を行っている。地方公共団体や民間団体の奨学金については、それぞれの募集案内を掲示し、希望者にそれぞれの制度を説明して応募させている。

また、学生への経済的な援助策として、平成26年度に本学独自の授業料免除制度を制定した。この制度は、学生としての修学態度が標準に達していると認められる学生にあって、学資負担者が死亡もしくは被災など不慮の事由により授業料の納付が著しく困難であると認められる者又はこれらに準ずる場合で理事長が相当と認める者を対象とし、各学期分の授業料についてその全額又は一部を免除する制度である。

さらに、平成25年度には寮費免除制度を制定した。この制度は、入寮希望の学生又は入寮している学生が経済的理由等で修学が困難な場合、寮費の全額を免除する制度である。加えて、同年度に姉妹入学金減免制度も制定した。この制度は、本学に入学する4月の時点で本学に姉妹が在学している場合、入学金の半額を免除する制度である。

また、本学では学生サービスに対する学生の意見や要望を把握するため毎年「学生生活に関する実態調査」のアンケートを実施して家庭、経済、学習環境、課外活動、ボランティアなどの実態と問題点を調査している。アンケート結果は学生支援委員会で各学部・学科別に集計・評価され各学部・学科の教員に配布し、学生支援委員並びに各クラス担任により改善・対応策をとる仕組みになっている。さらに、学内に学生支援委員会による「意見箱」を設置し、施設・設備の学習環境のみならず、学生生活全般に関する学生の様々な意見や要望を汲み上げるようにしている。

⑤海外の協定相手校

本学は、慈済大学（台湾）と仁徳大学校（韓国）、高雄大学（台湾）、上海杉達学院（中国）、Southern University College（マレーシア）、済州大学校（韓国）の6校と協定を結んでいる。

慈済大学とは、2011年に本学文化言語学部と慈済大学東方語文学系との間で学部間交流協定を締結し、2014年大学間交流協定締結に発展している。

慈済大学は台湾東部の花蓮市に位置しており、医学院・生命科学院・人文社会学院を併設する総合大学である。特に、長年交流している東方語文学系は、日本語・日本文学専攻と中国文学専攻を有しており、両専攻とも日本語が必須に設定され、日本で学位を取得した教員も多く、日本との関係が深い学部であり、安心して留学することができる。

仁徳大学校とは、2014 年本学文化言語学部学生が仁徳大学校附属「国際教育センター（韓国語コース）」に短期語学研修を実施するなどの学生交流を開始し、同年大学間交流協定を締結している。

仁徳大学校は、観光系やメディア系など 16 学科、学生数約 7000 名のソウル市北部にある都市型大学である。実務型教育が特徴で、韓国文教部から 4 年連続で「教育力量強化優秀大学」に選定されている。海外の協定校との交流も盛んで、日本の他に中国・台湾・モンゴル・ロシアなどからも多数の留学生が在籍している。

高雄大学とは、2019 年 2 月に大学間交流協定を締結している。

高雄大学は、学生数約 5200 人、2000 年創設の新しい国立大学で、人文社会系（日本語専攻含む）、法学系、管理学系、理学系、工学系等を有す総合大学である。大学が位置する高雄市は熊本県・熊本市の姉妹都市であり、県内自治体、経済界の交流が盛んな地域である。

上海杉達学院とは、2019 年 3 月に大学間交流協定を締結している。

上海杉達学院は、学生数約 1 万人、上海市の浦東新区にある中国の私立大学で 1992 年に創設された中国では比較的新しく、文系を中心とした総合大学で、外国語系（日本語専攻含む）、観光・旅行系、経済系、マネジメント系、ファッション系など実学系の学科が多い大学である。

Southern University College とは、2019 年に大学間交流協定を締結している。

Southern University College は、学生数約 2,600 人、マレーシアの第二の都市ジョホールバルに位置する（シンガポールの対岸）私立大学である。1990 年設立の Southern College（南方学院）を経て、2012 年 Southern University College となった。現在、人文・社会系、商業管理学系、芸術・デザイン系、中国医学・薬学系等 5 学部を有する、マレーシア初の華人系の大学で、中国系の学生が多いが、中国文学以外の授業の多くは英語で行われている。

済州大学校とは、2020 年 7 月に大学間交流協定を締結している。

済州大学校は、1951 年済州大学の母体として創設された。1962 年には国立大学となり、12 学部 59 学科、9 つの大学院を持つ総合大学である。さらに、2005 年には国際交流本部が設置され、海外の大学などとの学生プログラム（交換留学、International Summer School、短期韓国語韓国研修プログラム）を実施している。外国人留学生へのサポートも厚く、安心して留学することができる大学である。

⑥社会貢献活動

本学では、地域社会の生涯学習活動に貢献することを目的として、1990 年（平成 2 年）から尚絅大学短期大学部と共同で公開講座を実施している。今年は、9 講座開講予定であり、毎回好評を博している。

(11) 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

令和 6 年度開講授業科目シラバス

現代文化学部（シラバス）

生活科学部（シラバス）

こども教育学部（シラバス）

令和6年度カリキュラム

[現代文化学部（ホームページ／各コースカリキュラム）](#)

[生活科学部（ホームページ／カリキュラム）](#)

[こども教育学部（ホームページ／特色）](#)

3. 財務情報

- (1) [令和5年度財産目録](#)
- (2) [令和5年度貸借対照表](#)
- (3) [令和5年度資金収支計算書](#)
- (4) [令和5年度活動区分資金収支計算書](#)
- (5) [令和5年度事業活動収支計算書](#)
- (6) [令和5年度事業報告書](#)
- (7) [監査報告書（令和5年度決算）](#)
- (8) [令和5年度決算の概要報告](#)
- (9) [令和6年度学生生徒数の状況（令和6年5月1日現在）](#)